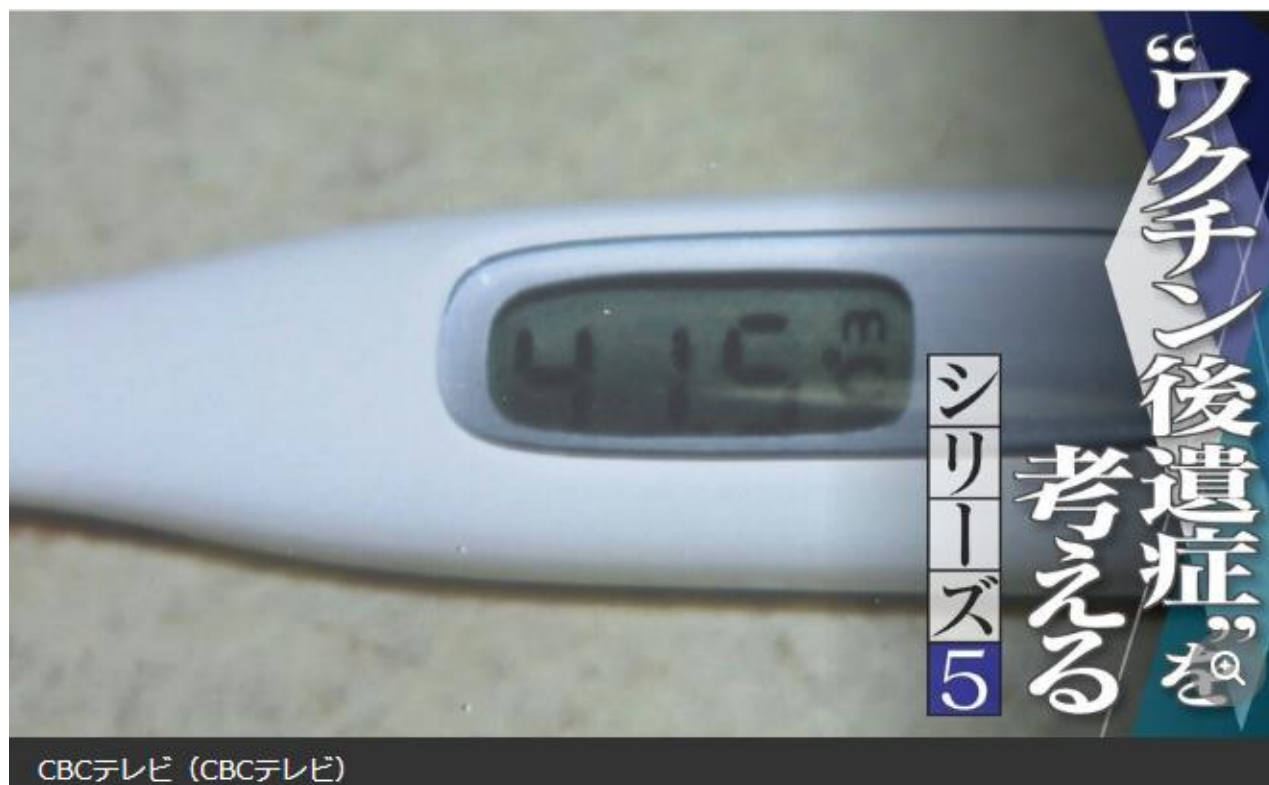


体温計に残された 41.5 度の表示 ワクチン接種後に 39 歳息子が死亡 「検視時の体温が非常に高かった、普通じゃ考えられない」 【“ワクチン後遺症”を考える シリーズ5】

12/28(日) C B C テレビ



▼CBC では新型コロナワクチンの副反応問題などについて、2021 年から取材を進めてきました。これまで放送した内容を複数回に分けて振り返ります。この記事は、2023 年に放送したものです。

ワクチン接種後に 1 人で亡くなっていた男性。残された体温計が示す、ワクチン副反応の「ある特徴」とは。

疎遠になっていた父親が、後悔の念とともに語ります。

(東正秋さん)

「息子とは何年も会えなかったんですけど、最近は（写真に）毎日挨拶しています。おはよう、おかえり、ただいま、行ってきます、と」

埼玉県に住む、東正秋さん。自宅のリビングには、2021 年 9 月に 39 歳で亡くなった長男の遺影が。

■2 回目のワクチン接種をした 3 日後…知人が異変に気づく

死因は未だ分かっていませんが、父親の正秋さんは、新型コロナワクチンの接種で起きた、ある症状が気になっています。

(東正秋さん)

Q.1 回目のあとは影響はなかった？

「ありましたね。頭から首、肩の痛みがずっと続いて、息子は几帳面で、毎日体温を測っていたみたいです。もちろん解熱剤を飲んでおさまった時もありますが、長引いたそうです」

最初のワクチンで長引いていた発熱。

2回目の接種をした3日後。知人が異変に気がつきました。

■ワクチン接種3日後に死亡 残された体温計は「41.5℃」を表示

(東正秋さん)

「(彼女が) 息子の家に行っても返答がない。心配で近くのおまわりさんのところに行ってみたみたいです。警察と一緒に息子の部屋に乗り込んだら、そこで息子は倒れていた」
千葉にある自宅マンションのリビングに倒れていた東さんの息子。既に亡くなっていました。

そして、すぐそばのテーブルにあったのが、「体温計」です。

(東正秋さん)

Q. この体温計というのは、息子さんが亡くなっていた場所の近くにあった？

「そうですね。警察が言っていました」

「体温計」の電源を入れると、最期に測った「41.5 度」が表示されました。

警察が作成した死体調査等結果書にも、体温計が 41.5 度を示したことが明記されています。

(東正秋さん)

「41.5 度まで上がっているんで、もだえたかどうかは分かりませんが、1つの場所に居られなかったんじゃないですかね。ベッドで寝るとかじゃなくて」

亡くなった際に、高熱が出ていたとみられる、東さんの長男。

医師の所見では「ワクチン接種後の発熱が死亡に関連した可能性は、否定できない」とされました。

■遺体が「普通じゃ考えられない体温」 死亡時は 42℃から 44℃前後か

ワクチン接種後の死亡と、40 度を超える発熱の関係に注目する医師がいます。

広島大学医学部の長尾正崇教授。法医学者として、年間 100 体以上の解剖を行っています。

(広島大学医学部 長尾正崇教授)

「最初に気になったのが、警察が検視をした時に、死体の体温が非常に高かったと。32 度～34 度とかですね。普通じゃ考えられないような温度だった」

■死亡から時間が経っても遺体の体温は 30 度台のまま

通常、検視する段階では時間が経っているため、体温は室温並みの 20℃台に下がっています。

しかし、長尾医師が解剖したワクチン接種後に原因不明で亡くなった 4 人の遺体は、いずれもまだ 30 度台でした。

(広島大学医学部 長尾正崇教授)

「死亡時の体温が非常に高かったということです。平熱を超えて、それこそ 40 度を超えるような」

長尾医師の研究チームは、4 人が死亡した時の体温を、死亡推定時刻からの逆算で、42 度から 44 度前後と推定。

遺伝子を解析して、体内で何が起きていたのかを調べました。

■”免疫の暴走”で体温が上がったか「黒とは言えないが、白でもない」

(長尾教授の研究チーム 中尾直己さん)

「特に炎症関係の反応が、強く出ていることが分かりました。免疫の応答を調節することが、うまくできなかったことを示唆している」

研究チームの仮説は「ワクチンによって、免疫が過剰に働き、体内に炎症が起きて体温が40度以上に上がった」というもの。

直接死因とは結び付いていませんが、ワクチンによる免疫への影響は、詳しい研究が必要だと長尾医師は考えています。

（広島大学医学部 長尾正崇教授）

「免疫反応に関係する遺伝子が亢進（こうしん）していた、ということを考えます。データから、あるいは状況からだけでは黒とは言えないんですが、白でもないし、やはりグレーとしか言いようがないが、十分ワクチンが関与していた可能性はある」

■3日後に亡くなった男性も“免疫暴走”による高熱？

2回目の接種から3日後に亡くなった東さんの長男も、いわば“免疫暴走”による高熱が起きたのか。

断定はできませんが、警察の解剖所見では「ワクチン接種後の発熱が、致死性不整脈発症に関与した可能性は否定できない」とされています。

（東正秋さん）

「ワクチンで死ぬなんて、そこまで僕の頭にはなかったんですよ。娘（息子の妹）から（解剖所見を）聞いて、調べたらワクチンにたどり着いた」

長男が20代の頃に言い合いになって、やりとりはメールだけとなっていた親子。

13年ぶりの対面は遺体でした。

（東正秋さん）

「一言で言えば悔いですかね。13年も会っていなかった馬鹿な親父でね。息子の思いを伝えて、息子の無念を晴らしたい」

■「息子は何が原因で亡くなったのか」

東さんは、ワクチン接種と死亡の因果関係の究明を求め、遺族会の活動にも参加しています。

（東さん・厚労省での会見）

「息子はピンピンしていました。ただ、何も、何が原因で亡くなったのか、私どものような悲惨な家族をこれ以上作って欲しくはない」

国の救済制度には、2021年に申請しましたが、いまだ認定結果は出ていません。

（大石アンカーマン）

「秋からは一般の方にも、年1回のワクチン接種が行われます。これからも続くワクチン接種についてはどう思いますか？」

（東正秋さん）

「ワクチンの効果もあるわけで、たまたま息子はワクチンに耐えるだけの力がなかったという風に思っている（ワクチン接種に対しては）慎重派ですよ。これだけの人が亡くなっているのに、国として『打て打て』ではなくて、もう1回立ち止まって精査して、それからでもいいんじゃないの、と思う」

BCテレビ「チャント!」2023年5月放送より

【“ワクチン後遺症を考える” これまでの記事】

▼新型コロナワクチン接種後に急死… 検視をしても原因不明 医師が注意呼び掛ける
“ある副反応”

▼新型コロナワクチンを打っても“未接種扱い”に 厚労省「理由は不明だが意図的なものではない」 突如データ“修正”

▼波紋広がる 厚労省のずさんなデータ分類 不可解な修正 食い違う主張

▼新型コロナワクチン接種 5 分後に 「手足がビリビリと痺れて…」 厚労省の現場職員
“データ修正” 認める

▼体温計に残された 41.5 度の表示 ワクチン接種後に 39 歳息子が死亡 「検視時の体温が非常に高かった、普通じゃ考えられない」

▼「溺れるように苦しくて」 新型コロナワクチン接種 13 分後にアナフィラキシー 突然膝から力が抜け歩くこともままならず

▼浴槽に沈んでいた 13 歳の息子 新型コロナワクチン接種数時間後に急死 因果関係は
“評価不能”

▼「娘の顔が分からない」 5 回目のワクチン接種後に起きた“異変” 震えが止まらず発熱・記憶障害も… 当然とされた医療従事者の接種

▼顔中に赤黒い内出血が… 手足も膨れ上がる 新型コロナワクチン接種後に夫が難病を発症し死亡 「検証されないと無駄死に」

▼「私は歩けないんです。排せつができないんです」 新型コロナワクチン接種後に“下半身不随”の男性 国の結論は“評価不能”

▼「接種後 首に痛みが…」 “ワクチン後遺症” 教える大学教授 当事者になって知った救済制度の高い壁

▼高校 2 年の夏休みに… 新型コロナワクチン接種後“原因不明の疾患” 副反応の救済申請を自治体は 1 年半放置していた

▼「元の体に戻りたい」「薬害だと思っている」 “新型コロナワクチン後遺症” に悩む患者たち 救済されずかさむ医療負担

CBC テレビ